

地域の実情と課題

五島市は島という特異性から、転勤等が多い。その多くが島の暮らしに馴染めず、島外の親族・知人等を休日に訪れリフレッシュして島に戻ってくるという生活を送っている人も多い。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、島外への移動制限があり、リフレッシュできず、孤独・孤立に陥ったケースがある。また、島外で就労していたが、新型コロナウイルスにより職を失い地元へ帰省するも、職が見つからず、人間関係も上手く構築出来ず引きこもってしまったケースもある。

本市は二次離島を多く抱える他、公共交通機関が不便な地区もあり、そのような地域で職を失い収入がなく、孤独・孤立に陥っているケースがある。

事業の特徴

○対話重視型セミナー事業：アフターコロナに向けて各種セミナーを実施し、意識改革を実施。また、将来の目標設定、スキルアップのためのキャリアコンサル支援を実施した。

事業の効果

○対話重視型セミナー事業

- ①個別カウンセリング34名、各種セミナー313名、②心セミナー：56名（マインドフルネス40名、人間関係セミナー16名）
- ③体セミナー：171名（ヨガ143名、女性ホルモンセミナー他28名）、④行動セミナー41名（家計管理：10名、片付セミナー他：31名）・子どもセミナー（キッズフォトセミナー38名、母子セミナー7名）

目的・目標

○対話重視型セミナー事業

- ①目標値が事業利用者の就職率50%に対し100%就職可能者(2名／2名)
- ②セミナー参加者のうち相談支援事業への移行率：目標値80%に対し、32.5%
セミナー参加者(26名／80名)

連携団体

- 五島市社会福祉協議会
- 五島市商工会、
- 福江商工会議所
- 市役所各課
- 五島保健所
- 医療機関
- 五島税務署
- 弁護士／家庭裁判所
- 五島警察署
- ファミリーサポートセンター
- ネウボラごとう
- 社会保険事務所
- 民間
- 若者サポートステーション
- ハローワーク

今後の課題

○対話重視型セミナー事業：潜在的労働者の発掘は出来たが、ニーズ(子育て世代の短期間就労、突然の保育園等からの呼び出し等)に応えられる事業所が不足している。

事業の概要

対話重視型セミナー事業



行動セミナー: 41名

・家計管理10名、LGBT+セミナー9名、片付けセミナー22名

・子どもセミナー: 45名

母子セミナー7名、キッズフォト38名

○セミナー合計313名

個別カウンセリング: 37名

・心セミナー: 56名

マインドfulness40名、人間関係セミナー16名

・体セミナー: 171名

ヨガ143名、女性ホルモンセミナー19名、薬膳セミナー9名



女性ホルモンセミナー全4回 24名参加



薬膳セミナー全4回 24名参加

